

講義タイムライン

【1 講義目】

講義（70 分）	13:00～14:10
休憩（10 分）	14:10～14:20
グループ討論（40 分）	14:20～15:00
グループ発表（10 分）	15:00～15:10
講師から補足（10 分）	15:10～15:20

【2 講義目】

講義（70 分）	15:40～16:50
休憩（10 分）	16:50～17:00
グループ討論（40 分）	17:00～17:40
グループ発表（10 分）	17:40～17:50
講師から補足（10 分）	17:50～18:00

募集要項

- ① 入学資格：同友会会員ならどなたでも入学できます。会員企業の経営幹部（候補者）も可。
- ② 受講料：55,000 円（税込） ※お試しに 1 講義だけの聴講も可能（1 講義 5,500 円（税込））
※卒業後、もう一度聴講したい方も同額で受付けます。
- ③ 定員：35 名（但し、人数が達し次第締め切ります）
- ④ 募集締切：7 月 31 日（金）
- ⑤ 卒業資格：通期14 講を通して10 講以上の出席。毎講義レポートならびに卒業論文の提出（欠席の講義もレポートの提出で出席扱いとします）

【卒業生の受講の感想】

信念・情熱・使命感を持ち合わせた方々（第28期卒業生）

私が目指すべきよい経営者、育てたい優秀な社員達が「如何にしてよい会社を築いてきたのか」を問うべく、同友会大学へ参加した。講義を終えて「よい経営者になる」「よい会社をめざす」「よい経営環境をつくる」為の教養を身につける事ができた。

各講師の方が素晴らしく、信念・情熱・使命感を持ち合わせた方々ばかりでした。そんな大きなエネルギーを世の中の為に生み出している講師陣に比べ、私はなんて小さな存在であるのかを痛感させられた。今では私が経営者としてのあり方、社員と共にどうあるべきか、どこを目指すべきか、が明確になりました。

地域に根差した学ぶ環境がある（第28期卒業生）

私は県外の人に沖縄を説明する際、自分をもっと文化・芸能・歴史を詳しく伝えることが出来たらと日々思っていたのでタイミングが良い出会いでした。期待と緊張した初受講が「組踊」の内容で講師の神谷武史さんの生き方に引き込まれました。そこから、琉球歴史と戦争、沖縄の問題・課題を深堀する内容で新鮮でした。また環境問題は今まで見て見ぬふりをしていたが逃避できないと現状を思い知らされ覚悟を決めゴミを拾うこと、マイバック持参し水筒を持つようになった。

3時間の受講だけでは物足りなく思えた。若い人々が地域の歴史・文化芸能を学び、メディアに惑わされず真相を見抜ける力を身に着ける場所が「大学」であってほしいと心から思えた。地域に根差した学ぶ環境があることに感謝している。年齢は関係なく寺子屋のような存在として、私は伝承者になりたい。

お申込フォーム

（一社）沖縄県中小企業家同友会行

FAX 098-859-6208 / E-mail doyu@okinawa.doyu.jp

※ 資料や事前連絡はメールで配信しますが、緊急に備え、ご自身の携帯番号を必ずご記入ください。

※ 会員の方は e.doyu からもお申し込み可能です。

氏 名		会社名		役 職	
E-mail		携帯電話		通期・単講（ どちらかに○）	講
学びたいこと・動機など					

※ 卒業生の皆様へ / 大学運営委員会メンバー随時募集中です。一緒に運営してみませんか？

問い合わせ先 / （一社）沖縄県中小企業家同友会 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター 6F TEL 098-859-6205

よい経営者の第一歩を同友会大学で

（一社）沖縄県中小企業家同友会

同友会大学

第31期

2026年
8月開講

入学者募集中

同友会大学で学ぶ経営者が増えている

より広い視野で変化の激しい時代を読み取る大局観を養い

経営の基礎・創業的な力を高めるために

経営課題解決のために



入学式・交流会

8月15日（土）入学式 13:30-14:45・交流会 17:00-18:00
 南風原町立中央公民館（南風原町喜屋武 236）
 挨拶（学長・委員長・他）・講師紹介・講義の進め方・受講生の心得などのガイダンス



第1講

小さな島の大きな文化 ～組踊の舞台はこうして作られる～

特別無料講演（会員外も参加可能）

「組踊」伝承者・沖縄県立芸術大学講師／神谷 武史 氏

8月15日（土）15:00-16:30 ／ 南風原町立中央公民館（南風原町喜屋武 236）

組踊の所作や衣装、メイクを舞台で分かりやすく説明。1972年に国指定重要無形文化財、2010年ユネスコ登録。ご家族やご友人、社員さんをお誘いの上参加ください。ゲスト参加者も事前に予約が必要です。



第2講

実践事例に学ぶ 文化を基調とした地域おこし ～歴史を知ることで未来をつくる～

南島詩人／平田 大一 氏

8月22日（土）12:00-17:00 ／ あまわりパーク（うるま市勝連南風原 3807-2）

子供達と共に現代版組踊『肝高の阿麻和利』を作り上げ、「KBG84」は高齢者が主役の地域おこしに貢献。エイサーの定番「ミルクムナリ」や「ダイナミック琉球」を手掛け、活動の幅はワールドワイド。



第3講

沖縄戦から何を学び、何を未来に伝えるか

沖縄歴史教育研究会・沖縄大学客員教授／新城 俊昭 氏

9月12日（土）13:00-15:20 ／ 沖縄産業支援センター

「なぜ？」にこそ知識の始まりがある。見る角度で真逆に映る琉球・沖縄の史実研究がいま明かされる。『教養講座 琉球・沖縄史』著者。戦後81年、沖縄の復興もあわせて考えます。



第4講

変わりゆく沖縄の海

しかたに自然案内 代表／鹿谷 麻夕 氏

9月12日（土）15:40-18:00 ／ 沖縄産業支援センター

沖縄の海の環境はどう変わってきたのでしょうか？美しい海を次世代に残すために、私たちには何ができるでしょうか？海から見える環境問題を共に考えます。



第5講

琉球の歴史 王国時代のリーダー像

琉球大学 名誉教授／高良 倉吉 氏

9月26日（土）13:00-15:20 ／ 沖縄産業支援センター

450年に及ぶ琉球王国の歴史をささえたリーダー像とは。羽地朝秀や蔡温、玉城朝薫ら先人たちの戦略やリーダー像に現代を生き抜くヒントが見つかる。11月に復興する首里城についても考察。



第6講

沖縄の経済と政治 ～統計経済と実態経済の乖離^{かいり}の検証～

沖縄国際大学・大学院 経済学部 教授／前泊 博盛 氏

9月26日（土）15:40-18:00 ／ 沖縄産業支援センター

ファクト（事実）とエビデンス（証拠）を基に経済と政治の「数字」の裏側と米軍基地、安保、地位協定、憲法、選挙、地方自治など沖縄の政治・経済が抱える主要テーマを鋭く切る。



第7講

足元の地域資源で地域おこし ～ピンチをチャンスに～

（公社）沖縄県地域振興協会・地域振興専門アドバイザー／山城 定雄 氏

10月10日（土）10:00-12:20 ／ つつじエコパーク（国頭郡東村平良 766-1）

何も無いと言われ続けたふるさとを宝の山に変えた男。追求したのは地域が元気になること。地域住民と一緒に「東村つつじ祭り」をつくりあげた。きっと世の中の見え方が変わる。



第8講

PA体験（プロジェクトアドベンチャー） PA 棟の宿泊付き

つつじエコパーク（国頭郡東村平良 766-1）

10月10日（土）14:00-17:30 ／ 10月11日（日）9:00 解散

参加者の自主性や協調性を養う野外活動を中心とした宿泊体験講座。学校や企業でも活用が広がっています。運動の後はB B Qで懇親を深め、緑も海も美しいやんばるに宿泊、翌朝解散のスケジュール。



第9講

うちな～ぬ肝心 ～琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶ～

特別見学講義

ていーだ観光（株）取締役・スーパーバスガイド／崎原 真弓 氏

10月31日（土）13:00-16:00 ／ 平和祈念資料館・平和の礎（糸満市摩文仁 614-1）

住民を巻き込んだ悲慘な沖縄戦。平和にこそ繁栄と自由があります。戦前・戦後の先人たちの生き方から平和の尊さを学びます。糸満市平和祈念資料館に直接集合し、現地研修室で受講。講師の案内で平和の礎を巡る。



第10講

古の伝統文化に学ぶ ～歩いて学ぶ識名園～

琉球歴史文化コンサルティング 代表コンサルタント／古塚 達朗 氏

11月14日（土）9:30-12:00 ／ 識名園（那覇市真地 421-7）

先人が築いた伝統文化に触れることで、私たちの人間性は広がります。識名園は1799年につくられた「廻遊式庭園」です。大名が競ってつくようになった造園形式ですが、随所に琉球独特の工夫が見られます。歴史を紐解き今に生かす貴重な学びになります。



第11講

世界・日本・沖縄の経済動向

日本銀行那覇支店 支店長／東 将人 氏

11月28日（土）13:00-15:20 ／ 沖縄産業支援センター

コロナ禍を経て人流変動、価格高騰、ゼロ金利、コメ問題、トランプ政権からの関税、中東情勢問題等、この一年で目まぐるしい情勢変化が。世界・日本全体の経済の動きを踏まえ、沖縄の経済動向について解説する。



第12講

懸命に生きる人々 ～いま、私達が学ぶべきこと～

（一社）アジア支援機構 代表理事／池間 哲郎 氏

11月28日（土）15:40-18:00 ／ 沖縄産業支援センター

東南アジア中心に支援に取り組む。過酷な状況下で懸命に生きる人々を通して学ぶ「人としての在り方」。池間氏のクエスト「どんな時代でも力強く生きる」を共に考えます。



第13講

ニッチ市場×就労支援とのモノづくり＝小さな会社の生き残り術 ～同友会型新規事業のつくり方～

（株）カリタス 代表取締役／根橋 理香 氏

12月12日（土）13:00-15:20 ／ 沖縄産業支援センター

沖縄古武道の武具を就労支援と連携して商品化し、海外から来県する古武道愛好家たちへ販売スタート。ニッチ市場こそ中小企業が生き残れる道と確信。実現までの道のりを紹介します。



第14講

子どもの貧困から社会のあり方を学ぶ

沖縄大学 名誉教授／島村 聡 氏

12月12日（土）15:40-18:00 ／ 沖縄産業支援センター

統計分析から見えてくる沖縄の社会構造。課題となっている「子どもの貧困」の主原因は県民所得の低さ。解決するためにどう行動すればよいのか。伴走すべき社会課題として共に考えましょう。

卒業式

2027年1月28日（木）17:30-19:30 ／ 沖縄産業支援センター

挨拶（学長・委員長・他）・卒業認定・論文受賞者表彰